

平勢隆郎

## 東文研蔵貴重物品の整理とデジタル化

### (1) プロジェクト全体計画（概要・目的・意義など）

わが研究所には、貴重な美術考古資料が所蔵されている。これらは、機会を得てよりよい保存状況下におくことが求められている。しかし、一方において、物品の劣化が急浮上しており、それらから他の物品を守る必要も生じている。そこで、目につくところから、保存のための処置を講ずることとした。

### (2) 今年度の進捗状況

前年度、すでにこの計画は別予算によって始まっている。その段階で、壁画5点に対し、調査の上写真上に損傷箇所を書き起こした。本年度はメチルセルロースとHPC（ヒドロキシプロピルセルロース）を絵の具層の剥落箇所に差し入れて、剥落止めした。保存箱内の中性紙により中蓋を作成した。染みが発生している綿布は、新しい綿布に取り替えた。また旧状と修理後が比較できるよう写真を撮影した。殷墟甲骨計6点と拓本11点、清朝衣服5点に対し、燻蒸を施した。黴のチェックもかねて、黴燻蒸と点検を行った。燻蒸方法は酸化エチレン製剤によるビニール被服燻蒸を行った。

### (3) 公開済の（または予定の）具体的な成果物

すでに整理の折に写真を撮っているので、それらを順次公開していきたい。ただ、その前に、さらに調査を進める必要があると考えている。